コロンビア定期報告（７月の経済）

　７月のコロンビア経済概況は以下のとおり。

【ポイント】

●1日，チリのプエルト・バラスで太平洋同盟第11回首脳会合が開催された。

●8日，ホンダ・コロンビアは，バジェ・デル・カウカ県において工場増設を行った旨発表した。

●15日，4年に及ぶ交渉，2回の国会審議を経て，対韓国FTAが正式に発効した。

●22日，運送業者・政府間にて合意が達成され，45日間に及ぶストが終了した。

【本文】

１　国内情勢

（１）経済見通し（20日及び27日，当地紙報道）

　国際通貨基金（IMF）は，コロンビアの2016年通年の経済成長率（予想）を2.5％，2017年の経済成長率（予想）を3％に据え置く一方，国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（CEPAL）はコロンビアの2016年通年の経済成長率（予想）を2.9％から2.7％に下方修正した。

（２）政策金利（30日，中銀プレスリリース）

　30日，6月の消費者物価上昇率（対前年同月比）が8.6％となったこと，エルニーニョ現象終束にも関わらず，依然として食物価格の高騰が続いているとの理由により，中銀は，11ヶ月連続となる政策金利の引き上げ（0.25％）を行い，7.75％とした。

（３）企業動向:ホンダ・コロンビアと日野自動車（8日及び15日当地紙報道）

　ホンダ・コロンビアは，バジェ・デル・カウカ県において工場増設を行った。また，日野自動車は，自動車市場が縮小している中，第一四半期において25％の売り上げ増を記録した。

（４）太平洋同盟第11回首脳会合（1日及び2日，当地紙報道及び商工省プレスリリース）

　1日，チリのプエルト・バラスで太平洋同盟第11回首脳会合が開催された。同会合において，太平洋同盟枠組み協定の第二追加議定書，及びヒトの移動を容易なものとすることを目的とした4加盟国の外務省間の情報共有メカニズム実施に関する署名が取り交わされた。さらに，今後の主な課題として，太平洋同盟とASEANの経済的な協力枠組み，太平洋同盟間における更なる品目の関税撤廃，及びインフラ投資の充実等が挙げられた。また，太平洋同盟プエルト・バラス宣言において，英国のEU離脱に伴う経済的影響を注視する旨の内容が含まれており，当地報道では，太平洋同盟として英国との自由貿易協定を模索する可能性があるとの見通しが示された。

（５）運送業者によるスト（23日及び29日，当地紙報道）

　22日，運送業者・政府間にて合意が達成され，45日間に及ぶストが終了し，運輸省は合意協定を公表した。合意協定には，大型トラックのスクラップ規制に関し，行政手続きの透明化を図りつつ現行制度を当面維持すること，労働規定の策定，及びトラックの耐用年数について規定を設けない旨明記された。ロハス運輸大臣は，公正かつ効率的な輸送システムの構築，及び運送業者の権利保障の重要性を強調した。

（６）ボゴタメトロ整備計画（27日，当地紙報道）

　ペニャロサ・ボゴタ市長は，8月16日を目処に，交通インフラのコンサルティング及び技術業務を行うフランス企業のSystraが取り纏める，ボゴタメトロの技術，資金及び法律の各テーマに関する調査を公表する旨述べた。本計画に係る入札は2017年第一期に行われ，メトロ開通は2020年中を見込んでいる。なお，本計画を実施するにあたり，13．5兆ペソ（約45．5億ドル）の予算が確保されている。

２　対外経済関係

（１）対韓国FTA関連（14日及び15日，当地紙報道）

　15日，4年に及ぶ交渉，2回の国会審議を経て，対韓国FTAが正式に発効した。ラコトゥール商工観光相は，コロンビアにとって対韓国FTAは特に農業部門の輸出拡大のよい機会であると捉えている。また，ハラミージョPROCOLOMBIA総裁は，石油・鉱物以外の分野の輸出の多角化に期待している。さらに，ディアス・コロンビア輸出業者連盟（ANALDEX）会長は，本FTAをアジアにおいてのコロンビアのプレゼンスを示すものとの考えを示した。

（２）EU・英国関連（5日，当地紙報道）

　英国のEU離脱により，コロンビアと英国の関係において，英国との二国間の通商協定締結，英国と太平洋同盟間での自由貿易協定締結，及びコロンビアがFTAを締結している欧州自由貿易連合（EFTA）に英国が再加盟するといった，3つのシナリオが当地紙によって示された。

（３）対コスタリカFTA関連（19日，当地紙報道）

　19日，ラコトゥール商工観光相は，2013年5月22日に署名された対コスタリカFTAは，2016年8月1日に発効する旨述べた。

（４）対パナマ関連（8日及び29日，当地紙報道）

　29日，コロンビアは，パナマから輸入される中国製の繊維及び履物に対して，国内産業を保護する為，アンチダンピング関税措置等の内容を含んだ法令を発効した。

３　経済指標

（１）経済活動全般

（ア）実質工業生産指数（DANE発表）

　5月の実質工業生産指数（加工コーヒー豆を除く）は前年同月比＋4.5％であった。

（イ）実質小売売上高指数（DANE発表）

　5月の実質小売売上高指数は前年同月比＋4.5％であった。

（ウ）消費者信頼感指数（Fedesarrollo発表）

　6月の消費者信頼感指数（ICC）は，▲11.3 ％と前月（▲12.5％）を1.2ポイント上回り，前年同月比では26ポイント下回った。

（２）産業動向

（ア）原油生産量（鉱山・エネルギー省発表）

　6月の石油生産量は日量88.8万バレルであり，前年同月比▲12.04％となった。

（イ）コーヒー

（ⅰ）生産（コーヒー生産者連盟（FNC）発表）

　FNC加盟コーヒー生産者による6月のコーヒー生産量は115.8万袋（1袋＝60kg）となり，前年同月比▲7.08％となった。

（ⅱ）価格（国際コーヒー機関発表）

　7月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均1ポンド＝1.64ドル（前月は同1.57ドル，前年同月は同1.45ドル）であった。

（３）物価・雇用（DANE発表）

（ア）物価

　6月の消費者物価上昇率は＋8.60％（前年同月比，以下同），生産者物価上昇率は0.91％であった。

（イ）雇用

　6月の全国平均失業率は8.9％と，前年同月の8.2％より0.7ポイント悪化した。また，主要13都市の平均失業率は10.2％と，前年同月の9.7％より0.5ポイント悪化した。

（４）貿易収支（DANE発表）

　5月の貿易収支（FOB）は，7.44億ドルの赤字であった。輸出（FOB）全体では，前年同月比▲20％の26.84億ドル，輸入（CIF）全体では，前年同月比▲23.4％の34.27億ドルとなった。

（了）